

| 方向性 | テーマ | 担当課 | R6年度実施状況 | R7年度実施状況 | R8年度以降の予定 | 目指すべき姿・効果 |
|------------------------|---------------|-------|---|--|---|---|
| 方向性1 交通安全安心な歩行環境の確保 | ティマ1 交通政策課 | 交通政策課 | 【適切な交通規制等のあり方の検討】 ・交通量調査実施（R6.9実施済） ・アンケート調査実施（R6.9&11済） ・北部交通対策協議会の開催 （①R6.12済、②R7.1済）（17,600円） ・交通シミュレーション調査実施（R6.12済）（6,490円） 計24,090円 ＜実施結果、成果、効果＞ 交通量調査に基づく交通シミュレーション結果では、歩行者天国にしても車両流入を1割抑制することで、周辺交通への影響を抑制できることが確認できた。また、アンケートや協議会の意見等を踏まえ、地域の負担に配慮しながら、交通規制の影響を把握すべく、令和7年度に歩行者天国を試行的に実施したこととなった。 | 【一番街周辺交通対策】（歩行者天国の試行的実施） ●R7.5実施分 ・交通誘導等業務（R7.5済、2,411円） ・看板作成等業務（R7.5済、814円） ・効果検証業務（R7.8済、8,360円） ●R7.11実施予定分 ・チラシ印刷（R7.9済、28千円） ・交通誘導等業務（2,434円） ・看板作成等業務（718千円） ・アンケート調査業務（1,573円） ・交通ビッグデータ利用（1,320円） ・迂回・駐車場案内業務（今後見積り実行予定） | ●一番街周辺交通対策 ● 北部市街地自治会交通対策連絡協議会の開催 | |
| | | 交通政策課 | 【公共交通の利用促進（スマートバス停）】 川越市役所前バス停（川越駅方面）へのスマートバス停設置（R6.12済） ＜実施結果、成果、効果＞ 利便性が向上し、一定程度、利用促進が図られた。 川越市役所前バス停の乗降客数（交通系IC） ・令和6年1月：7,444人 ・令和7年1月：7,534人（90人増） | 利用者数確認による効果検証 | 発信情報の充実 スマートバス停拡充の検討 | ・安全安心な歩行環境の創出 ・北部市街地周辺の生活交通生活環境の保全 ・公共交通の利用促進 |
| | ティマ1 観光課 | 観光課 | 【行列・混雑の解消支援（整理券システム等）】 整理券システム導入補助（328円） R7.2済 ＜実施結果、成果、効果＞ 10店舗導入見込⇒2店舗導入 ※整理券システムの需要がない可能性有 【道路上の混雑状況調査】 観光課職員による目視調査（R6.5月、9月、10月済） →道路上への行列店舗が多く見受けられる一方、行列への対策を行っている店舗も多数。 | 【北部市街地内7商店街等との協議】 行列がある店舗は既にできることをやっており、これ以上の対策は難しいのでは、という意見。 【道路上の混雑状況調査】 観光課職員による目視調査（R7.7済） →猛暑の影響か、店舗への行列は見られず。 | 【行列・混雑の解消にかかる調査検討】 行列・混雑の状況、購入後の行動等を把握するため、複数箇所の定点調査の実施を検討する。調査結果を基に、行列・混雑の解消に効果的な対策を検討する。 【休憩スポットマップ作成】 テイクアウト食品等の購入後、店舗前の道路等で滞留することを防ぐため、休憩スポット（鍛冶町広場、元町休憩所等）の利用を促進するマップを作成する。 | |
| | | 都市景観課 | 【滞留スペースの確保（伝建調査）】 伝建地区内の低利用空地調査等業務委託（2,981円） ・低利用空地実態調査（R6.12済） ・実証実験実施（R6.12済） ＜実施結果、成果、効果＞ R6.12実証実験（札の辻～仲町交差点） ・店頭の立看板・のぼり旗の一時撤去 [歩道に滞留する人数の割合] 58%⇒35%に減少 | 【地元関係者と協議】 調査結果の概要を川越町並み委員会や川越一番街商店街と共に有し、町づくり規範を重視した店頭の空間の開放の重要性と安易な看板設置の危険性について啓発と理解を求めた。引き続き、伝統的建造物群保存地区内の町並み保存のための制限・指導と併せて、都市景観表彰等による中庭や小路を活かした魅力発信に努めていく。 | 滞留空間の確保に向けた関連商店街や関係団体による自主的なルール化への支援 | |
| | ティマ2 交通政策課 | 交通政策課 | 【パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討】 ・ナンバープレート調査実施（R6.11済） ・駐車場利用状況調査（R6.11済） ・観光用駐車場のあり方検討（R7.1済） ・パークアンドライド事業の拡張性等に関する調査検討（R7.1済）（14,014円） ＜実施結果、成果、効果＞ 通過車両も含めた流入抑制策や目指すべきまちの将来像を踏まえた駐車場立地抑制策の検討の必要性、郊外型駐車場の運用における広報の重要性、まちづくりや観光振興、交通対策が連携した取組の必要性等、今後の駐車場施策に係る方向性を整理した。 | ・観光用駐車場のあり方検討結果を踏まえ、現状の混雑状況を精査し、具体策検討 R6調査結果を基に、北部市街地の車両流入抑制方策の検討 | まちづくりや観光振興、交通対策が連携した車両流入抑制対策の推進 | |
| | | 観光課 | 【観光客混雑区域内市有地の活用方策の検討】 一番街に面した市有地（幸町駐車場・小林斗あん宅跡地）について、オーバーツーリズムを緩和するための活用方針の策定を目指すが、令和7年度は基本方針及びそれに基づく複数の事業化案を作成する。 現状：9月5日：業者と業務委託契約締結 10月10日：地域住民及び事業者にアンケート送付 10月27日：アンケート提出期限 今後の予定：11月中旬から下旬：地域の関係者から意見聴取 1月末頃：基本方針の作成 | 観光客混雑区域内市有地活用方針案の策定に向けた業務の実施。 ・具体的な事業の検討 ・府内、地域住民及び事業者等との調整 | 北部市街地への車両の流入抑制による交通渋滞の緩和 | |
| | | 観光課 | 【駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備】 市役所南北駐車場、郊外型駐車場 情報発信機器・表示灯設置（16,324円）R6.12済 ※デジタルマップでの情報発信 ＜実施結果、成果、効果＞ 駐車場及びデジタルマップにて満空情報が確認できるようになった。 デジタルマップPV数 2月：13,160PV 駐車場関係ページPV数 2月：1,785PV ※全力テグリーで1番見られているため、追加情報発信を検討 | 【駐車場の混雑状況の発信】 ・川越市公式HPにて駐車場混雑予想の発信（R7.4～毎月） ・川越市公式Xにて公共交通機関の利用を促す旨の発信 ・デジタルマップの利用を促すため、元町休憩所や川越観光駐車場にデジタルマップのQRコードを設置。 【民間駐車場の満空情報の発信】 ・デジタルマップに民間駐車場のスポットを作成 ・満空情報を掲載しているURLの公開 ＜7年度今後の予定＞ デジタルマップの認知度を向上させる必要がある。 ・既存の総合観光案内板へデジタルマップのQRコードの設置検討 ・駐車場満空情報から得られたデータを基に満車状況の分析を行う。 | デジタルマップ認知度向上の取組を継続。 駐車場混雑状況の発信を継続。 | |

川越市オーバーツーリズム対策事業一覧

令和7年10月現在

| 方向性 | テーマ | 担当課 | R6年度実施状況 | R7年度実施状況 | R8年度以降の予定 | 目指すべき姿・効果 |
|----------------------------------|------------------|--------|---|---|---|---|
| 交通円滑化性の1推進 | ティマ3観光客の分散化 | 都市計画課 | 【都市計画道路中央通り線の無電柱化に関する調査検討】 無電柱化の手法選定、埋設物情報の集約図化 R7.1済 (4,389千円) ＜実施結果、成果、効果＞ 無電柱化の手法選定、埋設物情報の集約図化、 予備設計や詳細設計等の基礎資料とする | ・道路予備設計・歩行者交通量調査 ・電線管理者・埋設物管理者との協議 | 中央通り線電線共同溝検討 | |
| | | 道路街路課 | 【歩行環境の改善による回遊性の向上に関する調査検討】 現地踏査、問題点・課題の整理 無電柱化計画書素案作成 (R7.1済) 調査業務委託 (7,656千円) ＜実施結果、成果、効果＞ 歩行者空間改善のための方策の検討 「川越市無電柱化計画書」の素案策定 | 【無電柱化等推進事業調査設計業務委託】 | 計画方針等の策定 | ・観光客の分散化・回遊性の向上 ・滞在時間の延伸 |
| 方向性性の1 2 3 交観通光円環滑境化の改進 | 観光課 | ～ | 【多様な観光拠点への誘客促進】 ●ARデジタルスタンプラリー事業 (9,295千円) ※AR事業 R7.1.10 ・オープニングイベントとして、1月18日及び19日に3会場（喜多院、川越城、グリーンツーリズム拠点施設）でAR塗り絵ワークショップイベントを開催。 ・喜多院、川越城、伊佐沼、城下町公園（あぐれっしゅ川越）、浮島稻荷神社を紹介する動画を作製。本市HP及び市公式youtubeで配信。 ●喜多院・氷川神社看板設置 (687千円) ＜実施結果、成果、効果＞ ・1月10日～31日の観光客数前年比較 喜多院付近 4,877人増、本丸御殿、氷川神社付近 8,234人増、伊佐沼付近 4,541人増 ・観光案内所では散策帰りの観光客から、看板があったので目的地まで行けたとの声が聽かれた。 | 【ARコンテンツの継続運用】 ARコンテンツの認知度向上 ・デジタルマップへの掲載継続 ・8月から週1で市公式SNSでAR冒険ツアー開催中の旨配信 ・いこーよ（ファミリー向けおでかけ情報サイト）への再掲載 ・川越駅／本川越駅観光案内所のディスプレイでAR冒険ツアーPR動画放映 ・ARデジタルマップのメインキャラクターが「小江戸川越ほの香」であることから、花村えい子コンセプトルームがあるHatago koedoyaにチラシ・ポスター掲出 ＜7年度今後の予定＞ ARコンテンツの認知度向上に努めながら分散化に繋げる ・11月の歩行者天国実施時に、鍛冶町広場のエコストーションでチラシの配布もしくはポスターの掲示を行い、中心市街地からの分散化を図る。 ・中心市街地の観光スポットとARスポットを組み合わせたルートをデジタルマップに追加。 | ・AR冒険ツアーの認知度向上の取組を継続 ・観光スポットPR動画作成 | |
| | | 越小江戸川会 | | 夜間コンテンツ磨き上げ・夜間滞在の推進 | | |
| 方向性2 観光環境の改善 | ティマ4観光客に対するマナー啓発 | 観光課 | 【マナー啓発動画・掲出物等の作成及び周知】 動画・掲出物の作成・公開・配布 (1,793千円) ※R7.1済 ＜実施結果、成果、効果＞ マナー啓発動画再生数 (3/10 現在) ・観光文化発信動画 406回再生 ・マナー啓発動画 429回再生 ※再生数を増やすために再度周知が必要 | ・8月から週1で市公式SNSでのマナー啓発投稿。英語表記との併記。 1投稿2,000～3,000程の表示数がある。 ＜7年度今後の予定＞ ・マナー啓発品を公共施設（蔵里、博物館、美術館、本丸御殿など）、中心市街地の宿泊施設、交通機関にも送付し、掲出を依頼。 | ・観光マナー啓発ポスター作成 川越大使等に依頼し注目度を上げる ・公共交通放映用観光マナー啓発動画編集 ・観光文化発信動画多言語対応 ・観光マナー看板製作 | 観光マナーの向上、まちの環境美化による持続可能な観光の推進と市民の生活環境の維持向上の両立 |
| | | DMO川越 | 【ごみポイ捨て防止対策の支援によるまちの環境美化】 スマートごみ箱設置補助 (7,599千円) ごみポイ捨て防止取組補助 (238千円) ※両事業 R7.1済 計7,837千円 ＜実施結果、成果、効果＞ スマートごみ箱 2台設置(鍛冶町広場、小江戸蔵里) ごみポイ捨て防止取組補助 10件見込⇒3件補助 ※ごみポイ捨て防止取組補助は周知不足により件数が少なかつたため周知が必要 | ・商店街等の環境美化活動に対する活動補助 ・商店街等との今後の対応の協議 | ・商店街等による継続的な環境美化活動の実施 ・環境美化物品購入 | |
| 持続可能な方 向光性振興の推進 | ティマ5一元的な情報発信 | 観光課 | 【混雑緩和、マナー向上に向けた観光情報の一元的な発信】 ・デジタルマップ作成 (6,193千円) ※R7.1.14～開始 ・小江戸川越WEB改修補助 (1,257千円) ※R7.1済 計7,450千円 ＜実施結果、成果、効果＞ [デジタルマップPV数] 1月14日～31日 5,502PV 2月 13,160PV 3月1日～10日 4,055PV ※一定数は閲覧されているが、より発信強化が必要 | ●デジタルマップ ・旬なスポットカテゴリーの作成 ・民間駐車場のスポット作成・満空情報を掲載しているURLの公開 ・川越市公式SNSにおける周知 ・酷暑対策のためのスポット紹介 ・使い方や特徴を説明したショート動画を作成し、市公式Instagram、YouTube、観光協会Instagram、案内所Instagramで配信。 合計6,021PV (R7.8.29時点) ＜7年度今後の予定＞ ・観光関連団体等との情報共有によるマップ改善の協議検討。 ・旬なスポットカテゴリーの継続的な更新 ・川越市公式SNSにおける継続的な周知 ・多様な観光拠点への誘客促進に係るモデルルートの新設。 ・写真の少ない掲載スポットがある（観光案内所意見）ため、写真掲載の検討 ・カテゴリーが多く利用しづらい（観光案内所意見）ためカテゴリーの集約検討 | ・店舗のスポット数を増やし、マップの魅力度を向上させる。 ・掲載店舗等にデジタルマップのQRコードを掲示していただく。 | 一元的な情報発信による観光客の交通手段、来訪時間、訪問先等の行動変容の促進 |